

どうなる？ 定年制延長

雇用と年金の接続は確実にできるのか？

北多摩西ニュース

No.3

国分寺市光町1-40-12
Tel 042-576-1161(代)
Fax 042-575-0529
E-mail: kitanisi@crux.ocn.ne.jp
ホームページ: http://kitanisi.org/
東京都教職員組合
北多摩西支部情宣部

全教職員配布

先日例年より早く東京都人事委員会宛署名にとりくみました。例年たまたまかっているベースアップや再任用、非常勤の処遇改善に加えて、「定年制延長」の問題が都労連より提案されました。

この定年制の問題は年金の支給時期と深く関わっています。いわゆる「雇用と年金の接続」という問題です。現在年金の支給は、国民年金が65才です。一方で私たちの共済年金は「厚生年金と一元化」され支給額が削減されたものの、その支給については、60才から段階的に65才に向けて2年ごとに引き上げていくことが決まっています。それが完成するのが2021年です。政府はそれを受けて2021年より段階的に3年ごとに定年を1

何が問題か

1 2017年度定年退職は2万2853人(58・3%)、勧奨退職は5074人(12・9%)、普通退職(自己都合や諭旨免職による退職など)が8630人(22・0%)です。したがって定年退職と定年前退職の割合はほぼ3対2です。つまり定年を延長しても歓迎しない層が多く存在することになります。現在の仕事内容、量を抜本的に改善しない限り延長は難しいと思われる。

2 延長の狙いが問題です。現在労働力人口の減少が深刻化する中で、公

定年延長のシミュレーションモデル
(2021年度から3年ごとに定年年齢を1歳ずつ引き上げるとした場合)

定年年齢	60	61	62	63	64	65										
年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
生年月日																
1960年4月2日 ～1961年4月1日	60															
1961年4月2日 ～1962年4月1日		61														
1962年4月2日 ～1963年4月1日			61													
1963年4月2日 ～1964年4月1日				62												
1964年4月2日 ～1965年4月1日					62											
1965年4月2日 ～1966年4月1日						63										
1966年4月2日 ～1967年4月1日							63									
1967年4月2日 ～1968年4月1日								64								
1968年4月2日 ～1969年4月1日									64							
1969年4月2日 ～1970年4月1日										65						
1970年4月2日 ～1971年4月1日											65					

□ : 再任用となる年度 □ : 満60歳になる年度 □ : 定年となる年度 (数字は定年時年齢)

(2018 全教討議資料)

務労働者の労働力を確保すること、更には健康保険料が年金の掛け金の所得税、住民税などの税収源の確保にあります。

以上のように政府が閣議決定した。「定年延長」は決して労働者本位でなく、行政や財界の収入源の確保になると言っても過言ではありません。し

たがって私たちは都労連を通じて、どのように「定年」を考えるのか、様々な選択肢を検討すること、決して給与を下げないことを大いに追求しなければなりません。是非都労連署名を一人でも多く集めて支部にお寄せ下さい。

学校の窓

中学一年生のときから学級委員を務めるユキはいつも優しい笑顔で仲間と接します。ある時、「入学したばかりの私たちに、『進級の時は新しい自分を作るチャンスだよ』って先生が教えてくれたから、思いついて学級委員に立候補したんです」と教えてくれました。

▼いつも明るく誠実に努力する彼女は、誰からも信頼される頑張り屋さんですが、三年生になったある日、担任の若い先生を体育教官室に訪ね、「お母さんとお父さんが昨日大げんかをして、もう一緒に暮らせなくて…」とポロポロ涙を流しました。話すだけ話して「先生聞いてくれてありがとう」と少し明るさを取り戻して帰ったそうです。▼翌日の彼女はいつもと変わらない姿で登校しました。その背景には、勇気を出して苦しい思いを伝えられたこと、ありがとうございました。自分分、頼りになる大人の存在があったのだと思います。

(T・Y)

どれも同じ？ 中学校道徳の教科書

生徒の自己評価も含め、教科書による違いが



試行錯誤の「道徳」と「評価」

国（文科省）が決めた22の「徳目」を徹底

するために、道徳が「特別の教科 道徳」として教科化されました。現場からの要求があったからではありません。実施している小学校では、授業や「評価」の扱いについて混乱があるようです。

学期ごとに一定の文字数で通知表に「評価」を表記する学校も多数あります。しかし、「評価」の書き方については、文科省や都教委の文書を見ても、具体的にどうすればいいのか、判断とできません。全体

同じ教材でも設問が違う

同じ教材でも設問が違う

中学校でも教科書の検討が始まっています。中学校の教材は長文が多く、1冊読み終えるにも時間がかかります。学期末を迎えた忙しい時期にすべての教科書に目を通すことができずでしょうか？

中学校でも、同じ教材が複数の教科書に扱われています（下表）。しかし、教科書によって設問の組み立てが違います。3、4問質問している教科書もあれば、1問だけというものもあります。また、サブノート等

的に、試行錯誤という感じですが。

による自己評価についても、授業への取り組みを評価させるものと、

22の「徳目」に対するものがあります。「どれも同じ」ではなく、それぞれに違いがあります。目の前のいる子どもたちにとって、少しでもよい教科書が選ばれることを願っています。

教材名		出典
二通の手紙	8社	文科省「私たちの道徳」
足袋の季節	8社	
六千人の命のピザ	6社	
一冊のノート	6社	文科省「私たちの道徳」
裏庭のできごと	6社	文部省「中学校読み物資料とその利用」
言葉の向こうに	6社	文科省「中学校道徳読み物資料集」
海と空～樫野の人々～	5社	文科省 読み物資料
銀色のシャープペンシル	5社	文部省「道徳教育推進指導資料3」
卒業文集最後の二行	5社	文科省「私たちの道徳」
ネット将棋	5社	文科省 読み物資料
旗	5社	
二人の弟子	5社	文科省「中学校道徳読み物資料集」

「中学校『道徳』の教科書って？」（教科書ネット21）より

《2018 北多摩西支部 夏の教研》

民舞教室

ちゃーびらさい & 南中ソーラン

日時 7月22日(日)
10時～12時「ちゃーびらさい」
13時～15時「南中ソーラン」

会場 北多摩西教育会館

講師 地下 紀子さん（体育同志会）



秋の運動会に向け、昨年度も好評の民舞教室、を開催します。講師は、体育同志会で活動されている地下さんです。

どなたでも参加できます。予約不要です。運動できる格好で参加してください。

ホームページ <http://kitanisi.org/>

夏の大学習会

「安倍政権のねらう改憲の本質は？」

日時 7月25日(水)
午後6時30分～8時30分

会場 北多摩西教育会館

講師 渡辺 治さん（一橋大学名誉教授）

政権のメンバーにこそ道徳教育が必要だと思えるほど、ひどくなった日本の政治。渡辺さんの話は、その政治状況を的確に分析し、どこに私たちの活路があり、今どういうことが必要か、ぜひご参加ください。